

八戸

八戸学院大と同大短期大学部は3日、八戸市のはっちで公開講座を開き、同大の教授や講師ら4人が、さまざまな視点から現代社会における健康面の課題を提示、市民を交えた解決策を探った。生涯学習の一環として毎年実施しており、今年で5回目。この日は、医療に関心を持つ高校生や市民ら約60人が訪れた。講演では、同大健康医療学部人間健康学科



独身者の精神健康について解説する山本雄大さん

大 学 八 戸 公 開 講 座
大 学 八 戸 公 開 講 座
健康 多彩な視点から考察

講師の山本雄大さんが、独身者の精神健康について発表した。山本さんは2012年に行った20〜60代の男女約5千人を対象とした調査データを示し、全ての世代で未婚者よりも既婚者の方が幸福感が若干高い結果が出たことを紹介。「独身者が幸せになるには、社会全体で考えていく必要がある」と呼び掛けた。このほか、江戸時代の医療や笑い与健康の関係性などのテーマが取り上げられた。

(大澤諒)